

熊本地震の収束願う

県政報告

「わがこと」として備えを

神奈川県議会議員
かながわ民進党 きしべ都

熊本・大分両県を中心と「各市町村が避難所の状況をした地震で、亡くなられた把握できていない」「指定避難所以外に避難している方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災さ難所以外に避難している方れ、避難生活をされているています。」などの報告を受け

多くの皆様にお見舞いを申し上げます。これまでに「支援物資は各市町村の拠点まで届いているが、被災者の手元には十分に届いてない」

制など今後の課題と考えます。民進党対策本部は、政府・与党に提言を申し入れました。特に九州電力川内原発の稼働停止を求める声があり、そうした不安を解消できるように政府には説明や検証を求めています。

県は、DPATやDMATと呼ばれる災害医療チームや医療救護班を、県警は広域緊急救助隊警備隊、緊急災害警備隊などを要請に応じて派遣しました。

今後、ボランティアなどの支援も始まりますが、「できるところから」と緊急募金を始めています。「わがこと」としての支援と合わせ、身近なところの防災・減災の取り組みを進めていきます。



みなさまからのご意見、
ご要望をお待ちしています

きしべ都政務活動事務所

南区通町2-25-3 千々輪ビル1階

☎045-341-3385

<http://kishibe-miyako.com/>